

事業実施と生活交通確保維持改善計画との関連について

令和4年1月21日

協議会名:	白糠町地域公共交通会議
評価対象事業名:	地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金
地域の交通の目指す姿 (事業実施の目的・必要性)	<p>白糠町は、北海道東部に位置し、太平洋沿岸に沿って東西に国道38号及びJR根室本線が、また、北部を道東自動車道が走っている。面積は773.13km²、人口は7,710人であり、人口の多くが沿岸に集中している。</p> <p>昭和58年に旧国鉄白糠線が廃止となり、代替交通として、平成30年3月末まで町営バスにより沿線を運行していた。車に頼った生活への変化、急速な人口減少や少子高齢化の進展などの要因により、公共交通利用者が減少し、公共交通を取り巻く環境は更に厳しさを増している。将来的に地域公共交通が成り立たなくなることが懸念される。</p> <p>一方、高齢化社会の中で、住民だれもが生き活きと外出し、活動できる移動手段の確保の重要性はますます高まっている。</p> <p>公共交通を取り巻く現状と課題と多様化する住民ニーズをしっかりと認識し、利便性のある公共交通ネットワークの再編を図るため、平成28年度に策定した「白糠町地域公共交通網形成計画」に基づき、町民の持続的な生活の足を確保するため、町内公共交通を継続的に確保・維持する必要がある。</p>